

kikusui

平成29年3月期

第2四半期

決算説明会

2016年11月28日

1. 菊水化学工業グループの状況P3
2. 業績の推移及び予想P11
3. 当期業績予想についてP16
4. 中期経営計画の進捗についてP19

1. 菊水化学工業グループの状況……①会社概要

名古屋証券取引所 二部上場 東京証券取引所 二部上場

- 本社：名古屋市中区錦二丁目19番25号
日本生命広小路ビル
- 創業：1959年5月21日（昭和34年）
- 資本金：19億7,273万
- 従業員数：463名（2016年3月末）
- 事業内容：建築仕上材
建築下地調整材
タイル用接着材
ビルリフレッシュ工事
（住宅リフォーム）
その他

沿革

- 1959年 遠山昌夫が名古屋市で菊水商事創業。
- 1963年 菊水化学工業(株)に社名変更。
- 1963年 支店・営業所の全国展開を開始。
- 1969年 愛知県犬山市に犬山工場を建設。
- 1973年 福岡県粕屋郡に福岡工場を建設。
- 1976年 JISA6909の取得を開始。
- 1977年 茨城県古川市に茨城工場を建設。
- 1988年 名古屋証券取引所二部に上場。
- 1991年 岐阜県各務ヶ原市に技術開発施設建設。
- 1999年 ISO9001を取得。
- 2004年 菊水化工(上海)有限公司を設立。
- 2005年 住宅事業本部を新設。全国展開を開始。
- 2010年 日本スタッコを子会社化する。
- 2013年 山口均が社長に就任する。
- 2014年 東京証券取引所二部に上場する。
- 2015年 菊水香港有限公司を設立。
菊水建材科技(常熟)有限公司を設立。
- 2016年 台湾菊水股份有限公司を設立。

※詳細は会社案内を参照ください。



1. みんなのために
社会性
社会的に存在感のある企業であり
つづける。
2. よりよい商品
科学性
科学的に裏付けられた独創的な
製品・施工を供給する。
3. ゆたかな愛情
人間性
企業の活動が顧客、その他まわり
の人たちに愛情と思いやりに満ち
たものにする。

5つの事業

汎用塗料事業

建築用塗料の開発・製造・販売・付加価値塗料(耐火・断熱・他特殊工事)の施工を行う事業。

製品販売

工事

住宅事業

ハウスメーカーを中心とする戸建住宅の塗料の開発・塗替え工事を行う事業。

工事

海外事業

中国等の東アジアを中心とした塗料の開発・製造・販売を行う事業。(連結子会社: 菊水化工(上海)/ 菊水香港/ 菊水建材科技/ 台湾菊水)

製品販売

無機セメント事業

建物の躯体や塗装の下地を調整する製品の開発・製造・販売を行う事業。(連結子会社: 日本スタッコ)

製品販売

工業用塗料事業

ライン生産を行う企業向けに専用塗料の開発・製造・販売を行う事業。

製品販売

◎第59期(平成28年3月期)

連結売上高 219億6,171万円

◇菊水化学工業株式会社

◇菊水化学工業連結グループ各社

(日本スタッコ株式会社
菊水化工(上海)有限公司
菊水香港有限公司)

※菊水建材科技(常熟)有限公司、台湾菊水股份有限公司は、
第59期(平成28年3月期)B/S連結のみ。
第60期(平成29年3月期)よりP/L連結対象となります。

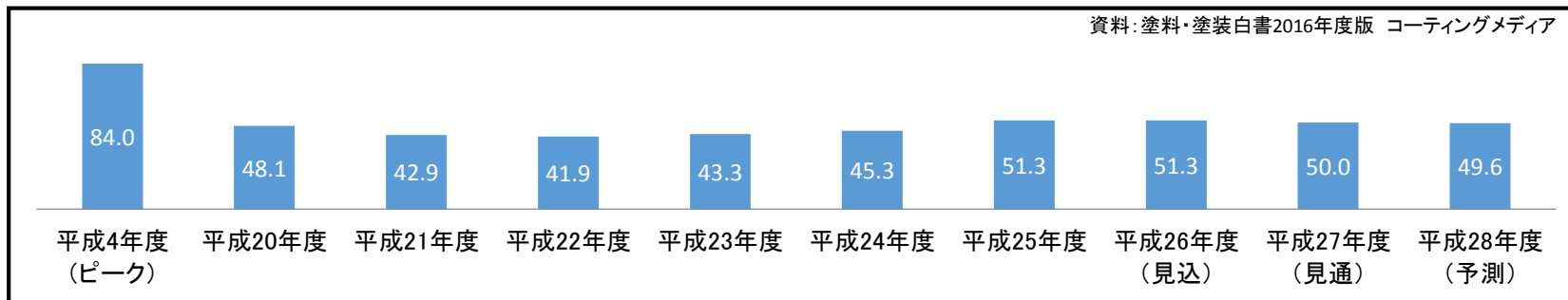
1. 菊水化学工業グループの状況・・・⑤補足：当社を取り巻く環境

◇建設投資の実績（建築／土木）

（単位：兆円）

平成4年度 (ピーク)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度 (民間見通)	平成28年度 (民間予測)
84.0	48.1	42.9	41.9	43.3	45.3	51.3	51.3	50.0	49.6

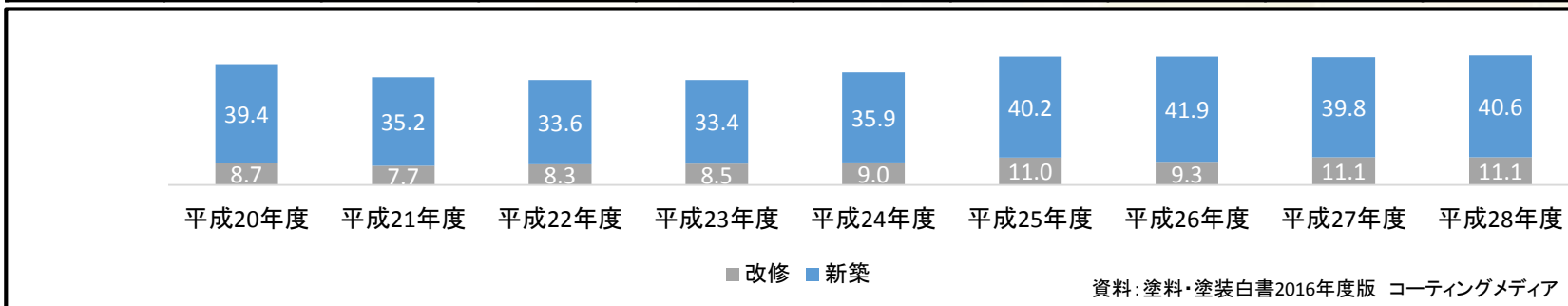
資料：塗料・塗装白書2016年度版 コーティングメディア



◇建設投資に占める新築・改修の実績（建築／土木）

（単位：兆円）

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度 (見通)	平成28年度 (予測)
新築	39.4	35.2	33.6	33.4	35.9	40.2	41.9	39.8	40.6
改修	8.7	7.7	8.3	8.5	9.0	11.0	9.3	11.1	11.1



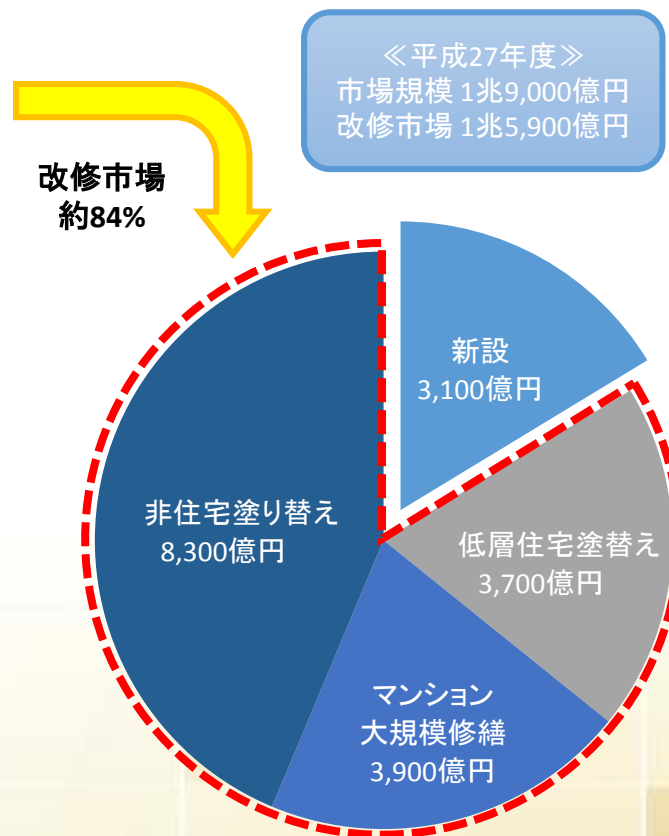
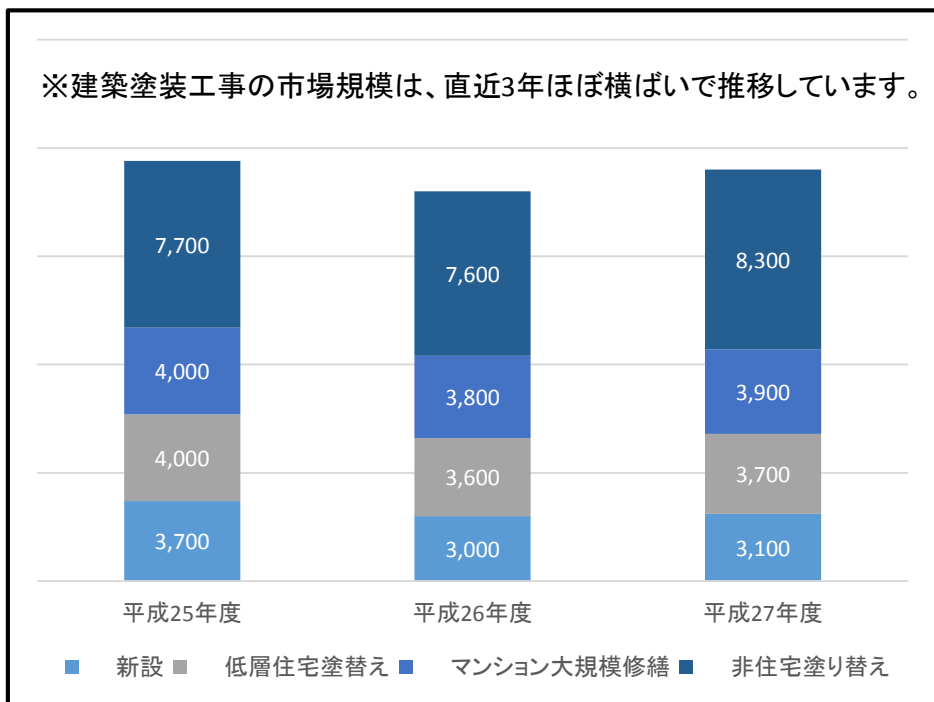
資料：塗料・塗装白書2016年度版 コーティングメディア

1. 菊水化学工業グループの状況・・・⑥補足：当社を取り巻く環境

◇建築塗装工事の市場規模

(単位：億円)

需要構成	平成25年度	平成26年度	平成27年度
新設	3,700	3,000	3,100
低層住宅塗替え	4,000	3,600	3,700
マンション大規模修繕	4,000	3,800	3,900
非住宅塗り替え	7,700	7,600	8,300
合計	19,400	18,000	19,000



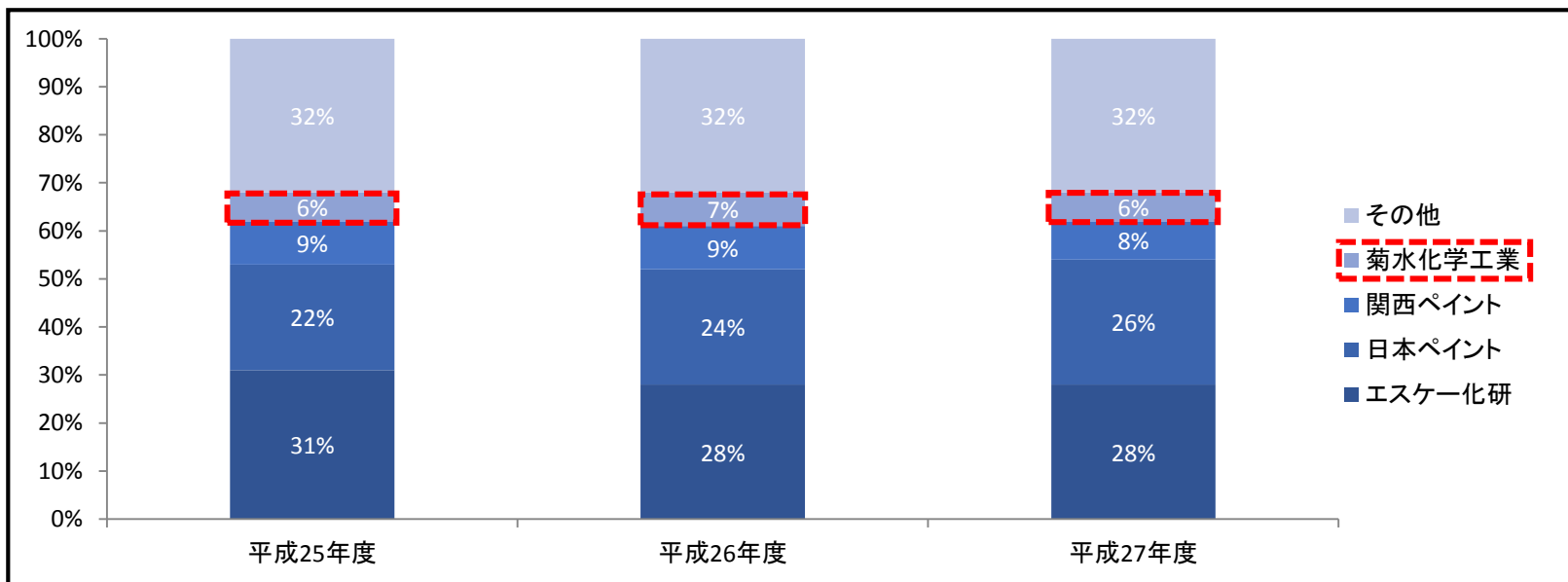
資料：塗料・塗装白書2016年度版 コーティングメディア

1. 菊水化学工業グループの状況・・・⑦補足：当社を取り巻く環境

◇建築用塗装メーカーシェア

主要メーカー	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エスケー化研	31%	28%	28%
日本ペイント	22%	24%	26%
関西ペイント	9%	9%	8%
菊水化学工業	6%	7%	6%
その他	32%	32%	32%

≪その他≫
 ロックペイント、大日本塗料、神東塗料、日本特殊塗料、
 スズカファイン、トウペ、水谷ペイントなど、



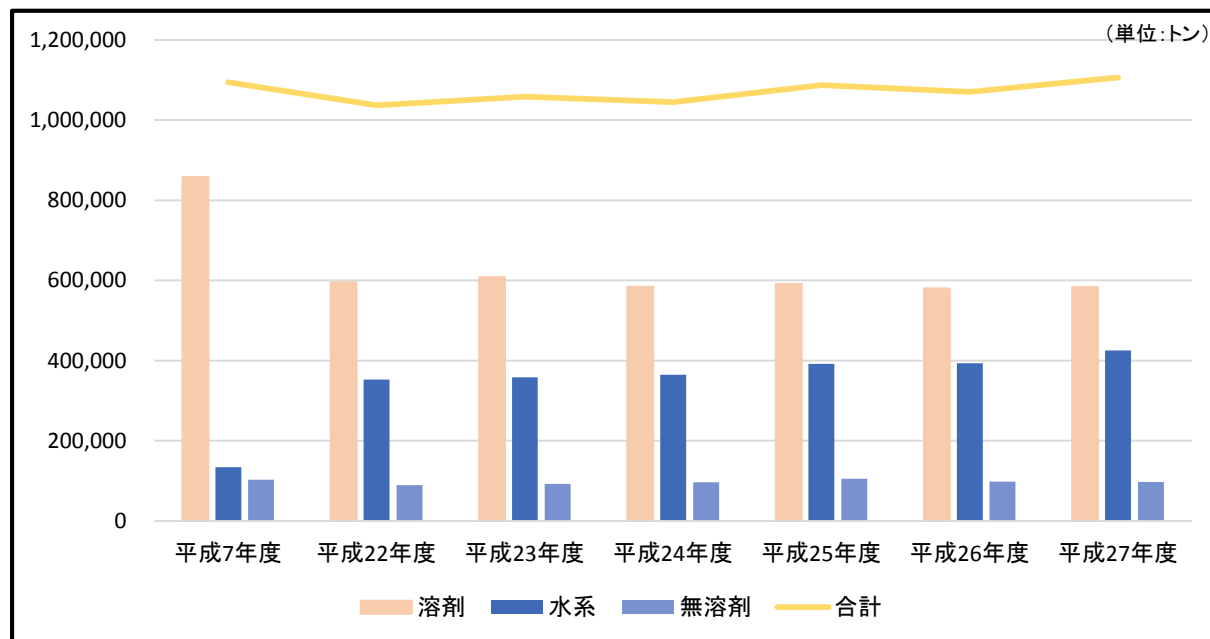
資料：塗料・塗装白書2016年度版 コーティングメディア

1. 菊水化学工業グループの状況・・・⑧補足：当社を取り巻く環境

◇合成樹脂塗料の生産量推移

(単位:トン)

	平成7年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
溶剤	858,251	595,029	608,154	584,496	591,125	580,075	583,716
水系	133,412	352,966	358,107	364,400	391,377	393,296	425,425
無溶剤	102,972	88,659	92,529	96,383	104,886	97,494	97,241
合計	1,094,635	1,036,654	1,058,790	1,045,279	1,087,388	1,070,865	1,106,382



○塗料の総生産量は、平成7年～平成27年までほぼ横ばいで推移していますが、溶剤系と水系の生産比率は、環境対応の流れもあり、溶剤系が減少し、水系が増加しました。しかし、直近5年では、その流れも横ばいで推移しています。

※ラッカー、電気絶縁塗料、シンナーは含まれていません。

※日本塗料工業会ホームページの統計より

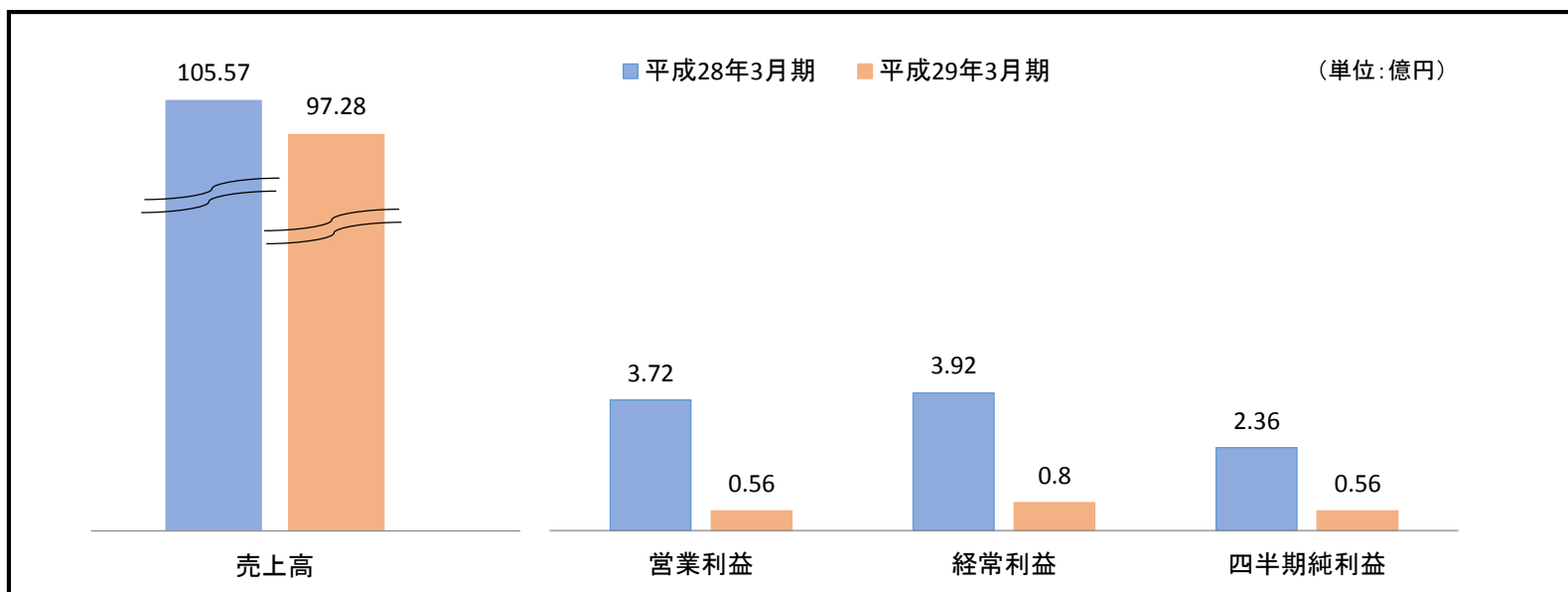
2. 業績の推移及び予測……①連結前期比

◇平成29年3月期 第2四半期 連結売上・利益実績

(単位:億円)

連結	平成29年3月期 第2四半期			
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
平成28年3月期	105.57	3.72	3.92	2.36
平成29年3月期	97.28	0.56	0.8	0.56
増減率	△7.9%	△84.8%	△79.5%	△76.0%

○当第2四半期(累計)連結業績は、不正競争法防止の疑いによる影響が予想以上に大きく、また、全国的な天候不順による工事着工及び完成の遅れ、戸建住宅改修市場の低迷、都市部での特殊工事受注の苦戦、当社商品ラインアップの一新途中及び新商品の市場への浸透不足などが、売上高及び損益に影響しました。

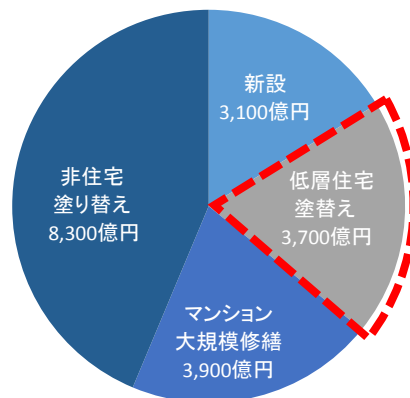


2. 業績の推移及び予測……③商品戦略

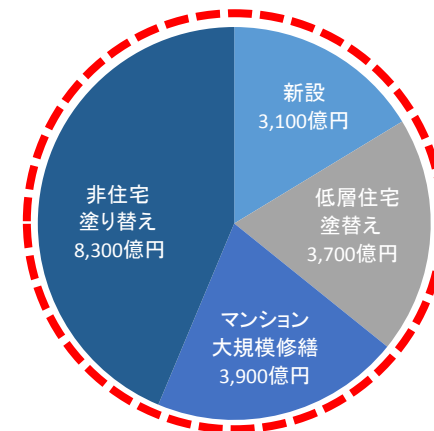
◇商品ラインアップ一新について

○当社は、総合塗料メーカーへの変革を目標に、戸建住宅の市場を中心に主力製品の展開を進めてまいりましたが、当期より戸建住宅以外の市場をもターゲットとして「下地から仕上げまでのオールラウンドプレーヤー」としての総合塗料メーカーを目指しています。それに伴い、従来の当社商品ラインアップをリニューアルし、商品の統合・合理化と新商品の展開を図っています。

戸建住宅市場



戸建住宅・集合住宅・ビル・マンション・学校・病院など全ての建物



戸建住宅向け商品

ラインアップ商品: 38品
 施工部位: 屋根・内外壁・鉄部・基礎巾木・外構など

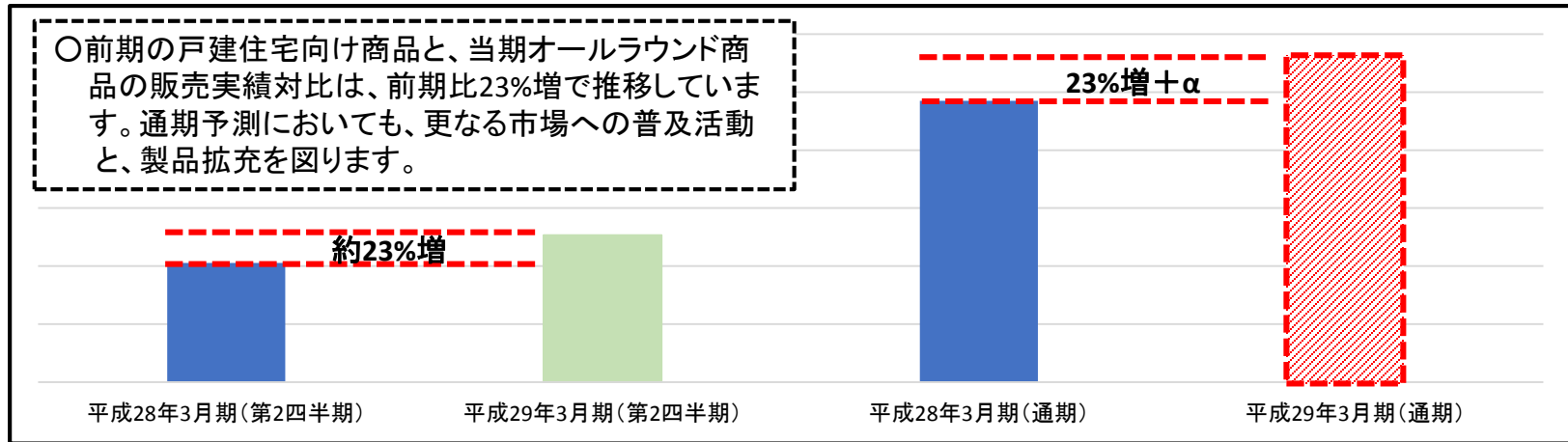
オールラウンド商品

〔戸建住宅・集合住宅・ビル・マンション・学校・病院など全ての建物〕

ラインアップ商品: 26品
 施工部位: 屋根・内外壁・鉄部・基礎巾木・外構など
 ○キクスイSPシリーズ
 ○水系ファインコートシリーズ
 ○キクスイロイヤルセレクション

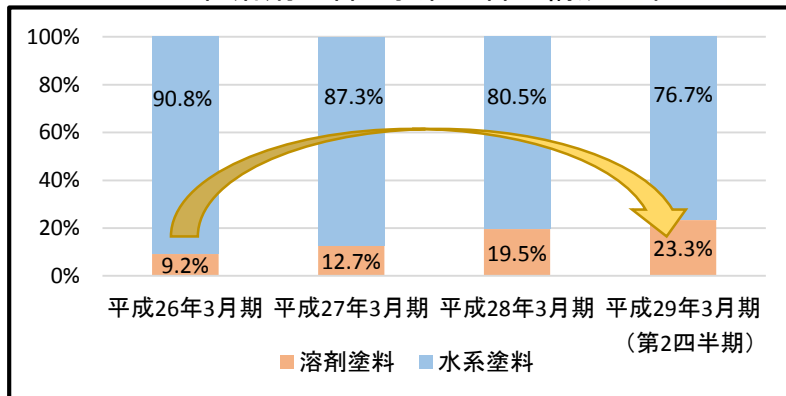
2. 業績の推移及び予測……④リニューアル商品の業績推移

◇前期販売実績対比

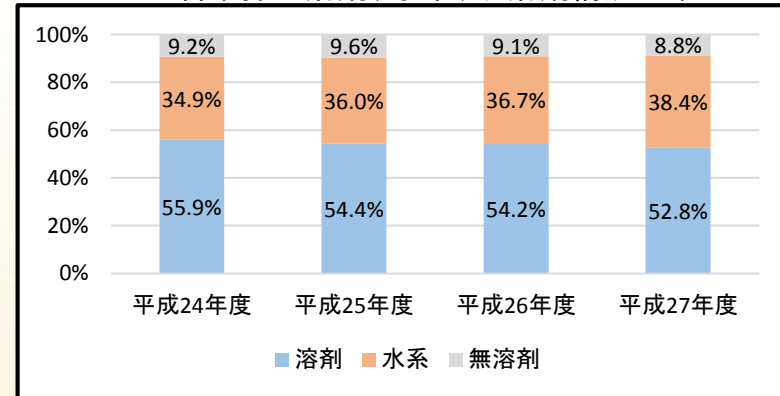


※参考資料 《溶剤塗料と水系塗料の業績推移（上塗材:トップコート）》

○当社溶剤塗料と水系塗料の構成比率



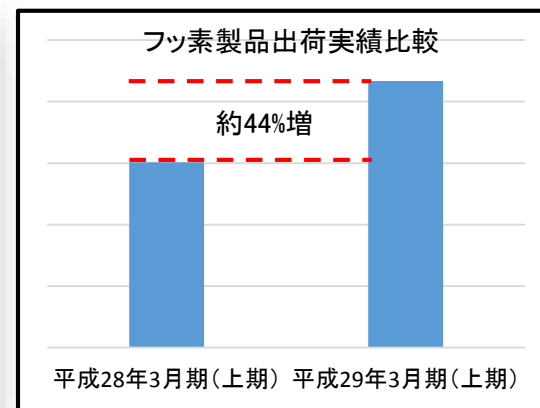
○塗料業界の溶剤、水系、無溶剤構成比率



※見本塗料工業会ホームページより

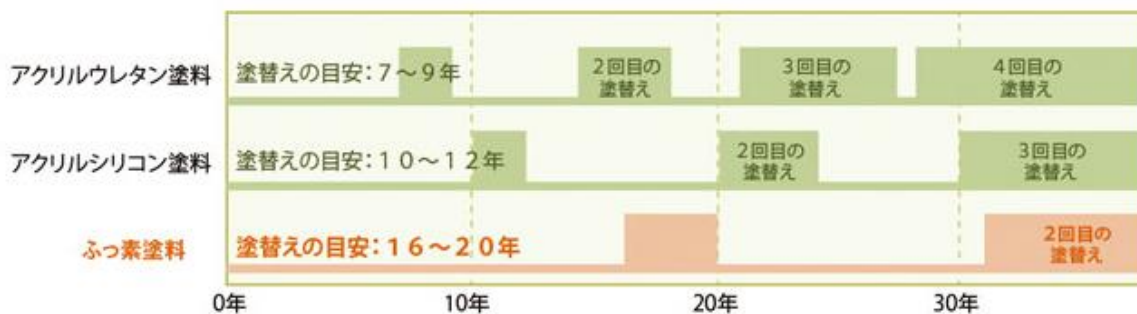
2. 業績の推移及び予測……⑤重点商品

フッ素セレクション



「水系ファインコートフッ素」 「キクスイSPパワーフッ素」
「キクスイSPパワーフッ素クリヤー」

○ふっ素塗料は、アクリルウレタン塗料の約2倍の耐久性を誇り、塗替え回数も減るためトータルコストが削減できます。



※この表は、一般的条件の場合を想定した塗替え目安で、性能を保証するものではありません。



「キクスイSPフッ素クリヤー」施工状況

2. 業績の推移及び予測……⑥工場建設状況の報告



東海工場(仮称)
来春竣工予定
〔生産量:年間約3,000トン〕
生産品目:溶剤塗料

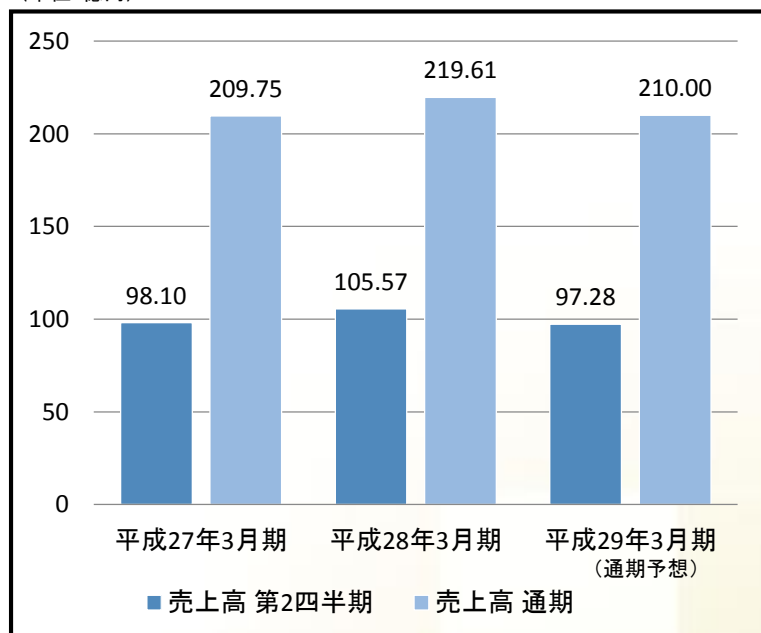
3. 当期業績予測について……①連結売上利益推移

◇売上高(実績)

(単位:億円)

連結	売上高	
	第2四半期	通期
平成27年3月期	98.10	209.75
平成28年3月期	105.57	219.61
平成29年3月期	97.28	210.00

(単位:億円)

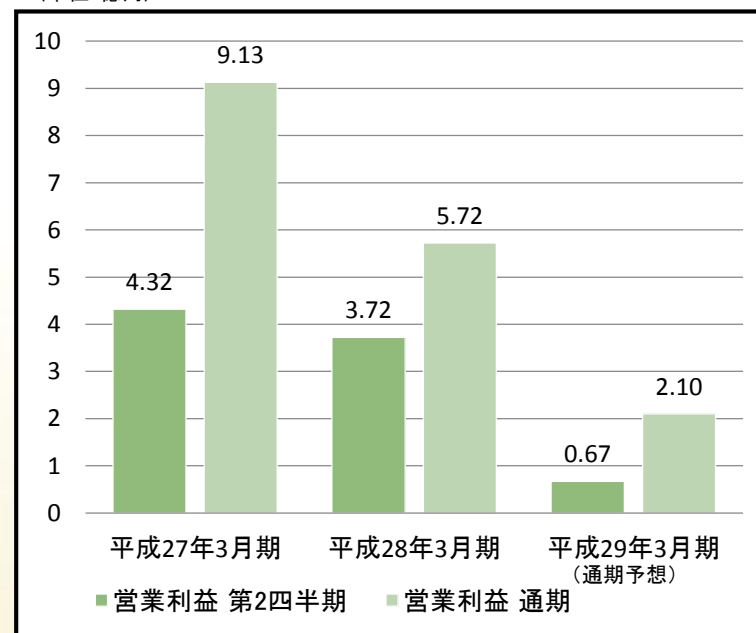


◇営業利益(実績)

(単位:億円)

連結	営業利益	
	第2四半期	通期
平成27年3月期	4.32	9.13
平成28年3月期	3.72	5.72
平成29年3月期	0.67	2.10

(単位:億円)



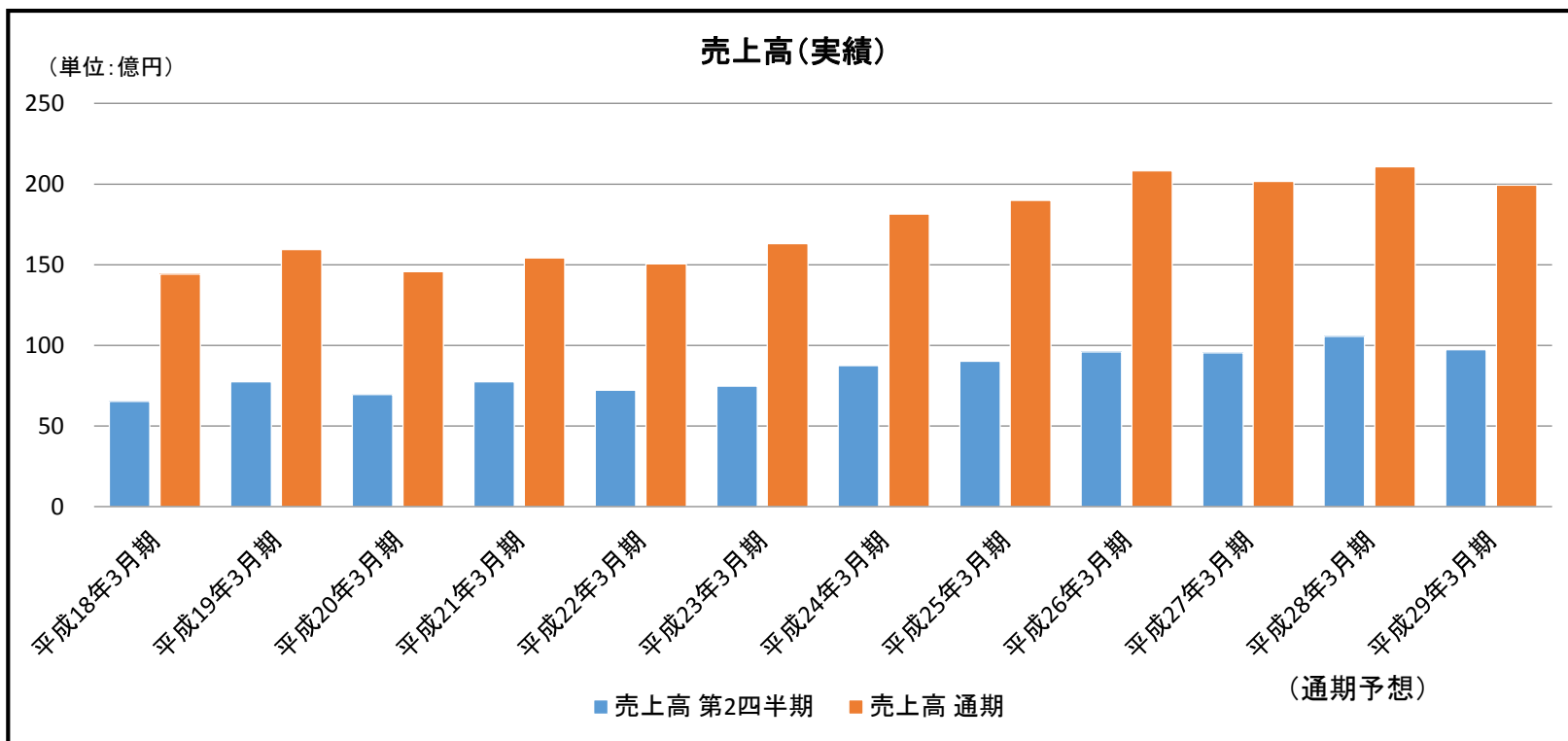
※2016年11月8日:平成29年3月期 第2四半期決算短信を参照

3. 当期業績予測について……②個別売上推移

◇売上高(実績)

(単位:億円)

個別	平成20年 3月期	平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期
第2四半期	69.61	77.41	72.31	74.78	87.49	90.23	95.89	95.37	101.12	93.00
通期	145.79	154.11	150.48	163.10	181.43	189.97	208.26	201.66	213.20	199.29



3. 当期業績予測について……③連結業績予測

<p>売上高</p>	<p>○210億円 前期比△4.4% 平成29年3月期通期の連結業績予測につきましては、当第2四半期累計期間の業績及び市況の低迷、都市部での特殊工事受注状況などを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表値を下回る見込みであるため、連結・個別ともに業績予測を修正しました。</p>
<p>原価・経費</p>	<p>引き続き物流の見直し、全社挙げてのコストダウンに努め、収益性向上を目指す。</p>
<p>営業利益</p>	<p>○2億1,000万円 前期比△63.3%</p>
<p>経常利益</p>	<p>○2億3,300万円 前期比△62.6%</p>
<p>親会社株主に 帰属する 四半期純利益</p>	<p>○2億300万円 前期比△48.3%</p>

※2016年11月8日：平成29年3月期 第2四半期決算短信を参照

4. 中期経営計画の進捗について…①連結計画利益

- 平成29年3月期の連結業績を下方修正しました。また、中期経営計画最終年度(平成30年3月期)の計画は、直近の業績動向を踏まえ、現在精査中です。

(単位:億円)

連結		売上高
平成28年3月期	実績	219.61
平成29年3月期	予測	210.00
平成30年3月期	計画	300.00

(単位:億円)

連結		営業利益
平成28年3月期	実績	5.72
平成29年3月期	予測	2.10
平成30年3月期	計画	15.00

※2016年11月8日:平成29年3月期 第2四半期決算短信を参照



菊水建材科技(常熟)有限公司

来春竣工予定 ※1期工事

〔生産量:年間3万5,000トン〕

生産品目:水系塗料

kikusui

下地から仕上げまでの総合塗料メーカーをめざす

Renovation Chemical

本資料に記載されている計画、目標、予測、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により、大きく異なる可能性がある事をご承知おき下さい。

《本資料及び当社のIRに関するお問い合わせ先：菊水化学工業(株)管理本部》